

# ”自分ごと”

# 災害は他人事じやない

## 水害の経験から学ぶ

### 江別でも災害は起きている

8月上旬には、台風11号・12号の影響により四国で総雨量1000ミリメートル以上を観測。台風は北上を続け、北海道地域にまで大雨をもたらしました。近年は予測を超え、全国的に大気の不安定な状況が続いています。

石狩川の流れる江別では、過去に大きな水害を何度も経験しています。近年では昭和56年8月に空知・上川地方を中心に降った3日間に及ぶ大雨の結果、下流の江別に水が集まり石狩川が氾濫。豊幌、美原地区をはじめとして江別市の広範囲が水につかりました。浸水などの被害のあった家屋は1025棟、避難人員は1526世帯、5314人に上りました。

それ以降、堤防強化などの治水対策も進められ、目立った水害は発生していませんが、「天災は忘れたころにやってくる」という言葉のとおり、災害はいつ発生するかわかりません。河川付近でない地域も被害に遭う可能性があります。平成23年8月にも、ゲリラ豪雨による市内道路の浸水被害などが起きています。日々科学技術の進歩が進む現在でも、未だに自然の脅威から逃れることはできません。しかし恐ろしい水害を経験した江別だからこ

### 江別市水害被害状況

	昭和56年8月集中豪雨 (8月3日～5日)	昭和50年8月集中豪雨 (8月22日～24日)
雨量	326.4mm	179mm
石狩川水位	9m23cm	7m91cm
被害額	56億5381万6千円	10億7534万6千円
住宅被害	1,025棟	495棟
田畑被害	5,509ha	2,603ha

防災の日  
防災特集  
9/1



# 危機感を持つ――



1



2

1. 決壊した美原の堤防。石狩川の水が流れ込んだ。  
2. 国道12号沿いに牛も一時避難（江別太：石狩川と夕張川の合流点付近）  
3. 水がひいた後の民家。



昭和56年の水害で冠水した当時の国道12号。豊幌地区で撮影。

## まさか被害に遭うなんて

昭和56年8月6日未明、美原の堤防が決壊。近くに住む三上利勝さんは、1メートルほどの床上浸水の被害に遭いました。「まさか堤防が壊れるはずがないと思っていました」と話す三上さん。

浸水した日、江別は晴天。江別で降らなくても、石狩川上流で大量の雨が降ると、下流の江別に水が集まり危険水位に。三上さんも、そのときまでは上川地方の大雨を他人事と思っていたそうです。

## 迅速な対応が分かれ道

「堤防はもうもたない。退避だ！」5日深夜、堤防の補強作業に出っていた地域住民に命令が出ます。家に戻った三上さんは、決壊に半信半疑ながら冷蔵庫を高い場所に置くなど、浸水対策を始めました。浸水が始まると、行政と連絡を密にとり、家族を避難所

そ、災害の恐ろしさを記憶し、危機感を持つて備え、助け合うことで災害から身を守る事ができるのではないのでしょうか。  
災害を他人事として捉えず、身近な「自分ごと」として災害に備えましょう。

に、牛を高台に避難させ、迅速に対応しました。しかし場所によっては対応が間に合わなかったところも。「みんなで協力して近所の豚や牛を助けようとしたが、何頭か流されてしまった」。

## 助けが嬉しかった

「水がひいた後、駄目になった畑や泥だらけの家を見て唖然とした。これからどうすればいいのか―」しかし市内各地から友人など応援が駆けつけ、助けてくれました。

## 災害を意識するように

水害後、上流で大雨が降ると川の様子を気にするように



三上 利勝さん  
美原在住 (76歳)

なった三上さん。地域をあげて行政に要望し強化した堤防もあり、その後は被害にあっていません。三上さんも堤防の存在を頼もしく感じていると同時に「絶対大丈夫はないので、万が一に備えておくことが大事」と水害からの教訓を話してくれました。



江別小学校に避難した市民  
(8月5日午前9時)

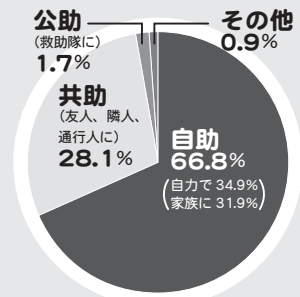
# 備える

## 公助はわずか1.7%

大災害では、行政機関からの助けを期待しがちですが、行政にできることにも限界があります。

阪神淡路大震災で生き埋めになった人の90%以上が自分や家族、地域の人々に助けられ、公助（救助隊などの公の支援で助けられる）は1.7%にとどまっています（左グラフ）。

調査：阪神淡路大震災で生き埋めになった人たちが、誰によって救出されたか？



(社) 日本火災学会「1995年兵庫県南部地震における被災に関する調査報告書」

## 訓練が本番に役立つ

119番通報が入っても、道路破損などの要因で迅速な救助活動が行えない場合もあります。災害の規模が大きくなればなるほど「自助（自分の身は自分で守る）・共助（周りの人と助け合う）」が重要です。



耳の不自由な方などの要援護者も意識した訓練に取り組んでいます（H26 江別市防災訓練）

「訓練できないことは、本番でもできない」という言葉は訓練の重要性を的確に表しています。知識があっても、実際に体験してみないと気付きにくいこともあります。

災害を想定した、家庭内備蓄や家族との連絡方法の再確認など個人でできる備えを、炊き出しや小学校での寝泊りを体験する避難所運営訓練などを開催しています。参加者からは「この経験は絶対に役に立つはず」といった感想が聞かれ、地域全体で防災に備える大切さが再確認されています。



毛布と2本の物干しざおで作った応急担架を使用しました（H26 江別市防災訓練）

## 助け合おう

### 企業・大学との協力

災害が発生した場合、ライフラインの迅速な復旧や必要物資の調達などには、企業の力が不可欠です。

市では、企業とともに防災力を高めようと、企業向けの災害対策セミナーを開くほか、25の災害協定を結んでいます。災害時に食料品や生活用品などを企業から提供してもらうことをは



平成 25 年 7 月にコープさっぽろと協定を締結

じめ、供給物資を輸送する支援など、各企業の特徴を生かした役割分担で総合的な災害対策が期待されます。

また、市内大学の研究成果を訓練に取り入れるなど4つの大学を持つ江別市ならではの協力関係も特徴的です。

北翔大学で研究を進めている段ボールハウスは、個人の空間を確保する手段の一つとして各避難所運営訓練に用いられているほか、酪農学園大学では、災害時に地域の災害情報をコンピュータで見えるようにする「緊急地図作成チーム」の活動をお願いしています。

### 助け合いが災害を乗り越える

昭和56年の水害時には、市内外の各団体からさまざまな支援をいただきました。自身は義援金や物品など多岐に渡っていま



北翔大学の教授や生徒たちの指導の下、段ボールハウスの組み立てを行います

す。ただ、物的支援だけでなく、市内外からの被災者を気遣う気持ちや、多くの人の心を力強く支えたのではないのでしょうか。

人間の力は小さく、自然の驚異には歯が立ちません。しかし、一人ひとりの努力と助け合いで、災害の被害規模を小さくする「減災」には取り組みます。

常に危機感を持ち、備えることが大切です。自分や大事な人の命を守るために、今一度自分でできることを確認してみましょう。

昭和56年水害で被災者を見舞う友好都市土佐市からの訪問団の方々



## 「地域の避難拠点」として学校の機能が向上 ～備蓄物品の分散配置の取り組み～

今年7月、江別市立江別第二小学校に防災備蓄庫が完成しました。耐震化を進めるための市内小中学校改築に伴い備え付けたもので、アルファ化米や備蓄用パンといった非常食に加え、毛布や間仕切り用段ボール、発電機やカセットストーブといった非常用品が蓄えられます。



●二小の備蓄庫

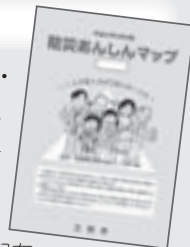
このほか、第二小の新校舎には体の不自由な児童が利用できる多目的トイレを校舎1階に設置。オストメイト設備（人工肛門の洗浄設備）、洗面台、ベビーベッドなども設置され、避難所になった際には小さいお子さんを連れた方などのプライベートルームとしても活用が期待されます。

現在、緊急時の食料・毛布といった非常用品は江別市文書管理センター（中央町30-1）に備蓄されていますが、今後は、江別太小、第一中、統合新設される第一小にこうした備蓄庫が順次整備され、分散配置を進める予定です。

## 災害・防災については 総務課危機対策・ 防災担当にご相談を ☎ 381-1407

### <各種防災関係案内>

○普段から備えましょう／大麻・野幌・江別地区の防災マップを配布しています。地震の揺れやすさや、洪水時の避難先、非常持ち出し品や災害避難支援制度など防災に関わる情報を詳しく掲載しています。市役所案内窓口、大麻出張所、市HPなどで配布。



○出前講座のご利用を／職員が直接伺い、わかりやすくお話しする「出前講座」を行っています。災害図上訓練（DIG）、要援護者支援制度について、避難所運営ゲーム（HUG）、減災のはなし、リスクと闘うママになろう！など

○訓練のご相談もお気軽に／地域や事業所でどんな取り組みをすればよいか、一緒に考え、組み立てていきます。

○江別防災情報発信サイト／24時間体制で災害・防災情報を発信し、災害時も停止しないサイトです。「江別防災情報発信サイト」で検索し、いざというときのためにお気に入り登録を！ URL=http://bousai.city.ebetsu.hokkaido.jp/

### 防災関係のお知らせ

#### 建設業向けBCPセミナー

BCP（業務継続計画）とは災害時に必要な対応を事前に取り決め、業務復旧を円滑に行う計画です。その必要性を紹介いたします。無料。  
日時／9月26日（金）14時30分～17時。会場／野幌公民館。

対象・定員／市内建設業事業者50名。申込・詳細 9月19日（金）までに総務課危機対策・防災担当に「氏名・事業所名・連絡先」を☎381-1407またはE-mail=kikitsaku@city.ebetsu.jp。<

#### 江別市水防計画変更案の パブリックコメント

水害の警戒などを目的とした江別市水防計画の変更にあたり、市民意見を募集します。主な変更点は、水防従事者への安全配慮を盛り込んだほか、諸資料の更新や地域防災計画との整合を図った点などです。

募集期間／9月1日（月）～9月30日（火）（必着）。資料配布場所／土木事務所治水課、本庁舎1階情報公開コーナー、市役所大麻出張所、水道庁舎情報図書館、市民会館、各公民館、鉄南地区証明交付窓口、豊幌地区センター、市HP。提出先／持参、郵送、ファクス、Eメールのいずれ

か。土木事務所治水課 ☎067-0042 元江別本町21 ☎383-5900 FAX 383-6804、Email=chisui@city.ebetsu.jp

#### 第19回防火ふれあい大麻

君は達成できるかな？明日からは消防士！  
楽しみながら防



災への関心を高めましょう！梯子車搭乗（整理券配布、小学生以上）、降雨体験機械の出展放水体験など多数！無料。  
日時／9月14日（日）14時～16時。  
会場・詳細 消防署大麻出張所（大麻元町192-3、☎386-8333）

#### 救急関係のお知らせ

##### 救急救命士の 処置範囲が拡大

「救急救命士法施行規則の一部を改正する省令」に伴い、救急救命士の行う救急救命処置の範囲が拡大し「血糖測定と、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与の実施」と「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液」の2行為が追加されました。救急救命士が医師の具体的な指示を受けて行う処置の対象範囲が、心肺停止後の傷病者に限られていたものから、心肺停止前の重度傷病者に拡大されることで、救命効

果の向上が期待できます。処置範囲拡大の講習を修了した2名の救急救命士を8月1日から運用開始しており、今後計画的に増員していく予定です。

【詳細】 警防課救急高度化担当 ☎382-5431

##### 救急医療教室



「正しい知識があなたと家族を守る」 申込不要。無料。  
日時／9月6日（土）10時～12時30分。内容／記念講演「大切な命を守るために知っておきたいこと」江別市立病院 循環器科主任部長 青木 健志、救急活動の実演・AED（自動体外式除細動器）の説明と実演、心肺蘇生法実技指導・救急車の見学。  
会場／消防本部多目的ホール（野幌代々木町80-8）。  
【詳細】 救急課 ☎382-5465、江別医師会 ☎383-2136

##### 上級救命講習受講者募集

乳児、小児、成人に対するAEDを使った心肺蘇生法の講義、実技、固定法や搬送法など。講習終了時に効果確認試験あり。無料。日時／10月19日（日）9時～17時。会場／消防本部多目的ホール（野幌代々木町80-8） 対象／普通救命講習を受講済みで市内に在住・在勤・在学の10歳以上の方、先着30名。  
【申込・詳細】 9月8日（日）9時から電話で救急課 ☎382-5465